

目標達成計画

作成日: 令和1年9月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の回数が多すぎて事務処理に困っている。会議も形骸化して参加を促すのに苦労する。	制度の廃止又は縮小(年2回程度)を訴えていくが、開催する以上は介護品質の向上に資するよう議題を工夫していく。	選挙のときに改訂を主張する候補に投票、業界団体でも提言する。機会を探してマスコミに訴える。	36ヶ月
2		情報公表と外部評価と自主点検の項目が重複、事務手続きが大変煩わしい。	制度の廃止又は簡素化	同上	24ヶ月
3	33	終末期の医療的対応について本人および家族との事前の話し合い。	終末期の利用者にその意向はなかなか聞けないので日頃の言動から推察する。家族間に意見の違いが出ないように調停する。	入所にあたって当ホームの「終末期介護要綱」の趣旨を十分説明するがあくまで一般論であるので、今後は利用者の推定余命に応じて関係者(家族、医師等)と話し合っていく。	12ヶ月
4		2002年度以来2018年度までの損益収支の累計が差引575万の赤字となっている。	資本金を1,000万に増額してから資金繰りは多少楽になったが損益収支には反映されない。今後これの改善に努める。	処遇改善加算、夜勤宿直加算の継続申請、人件費、食材費以外の経費の徹底的節減	60ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。